

**経営理念** 人と環境を大切に、美しく共に生きる。

## おかげさまで 創立35周年 「つながる、チカラ。」



株式会社アグメント  
社長

**今津悠見**

ウィズコロナ時代といわれる現在、みなさんどのようにお過ごしでしょうか？経験したことのない恐怖感が残る中で、社会機能、公衆衛生の維持のために働かせていただいている私たちですが、これを機にさまざまなことを見直し、考えさせられました。今後、さらなる厳しい環境になるかもしれませんが、今は大切なお客様や社員一同が無事に日常を過ごすことができるよう祈りつつ、感謝の気持ちで毎日を過ごしたいと思います。

写真:阿蘇で撮った部長の愛車(左)  
部長作のフォアグラロッシェニ(右上)  
と鴨料理(右下)



株式会社アグメント 部長

**榊原修司**

勤続年数:18年(平成13年10月入社)

創立35周年  
特別企画

株式会社アグメント創立35周年特別企画として、今回は榊原部長にインタビューしました。これまでのアグメントの歴史をみなさまに少しでもお届けできたらと思います。

**Q.当時の仕事のことを聞かせてください。**

今より全然人数が少なかった。15人くらいかな。どこの施設も無かったので、回収、処分場に持っていくことだけ。地域に密着してる仕事だけだった。だから、ここで、何かここで処理するだとか、畑をやるだとか、そういうことは無かったので、スタートから、昼みんな戻って来て、そこ(今の集計をするところ)で飯食って。規模は違うけど、どこの仕事も内容は変わらない。人数少ないから、当然あっち行け、こっち行けになるよね。だから、いろんな仕事をやった。

**Q.飲食店から転身された話をお聞きしたいです。**

前はコックでした。コックだと、最終的な目的っていうのは自営業ですよ。絶対お店を持つということになるじゃないですか。今なら、いろんな考え方があっていろんなこと出来るんだけど。正直な話、自分で店出すにはお金がかかったりとか、結婚もしてたし、子どももいて、土・日曜日休みにいないとか当たり前だったので「どうなんだろう」と思って。35歳の時位だったかな。この先、普通に会社員でやっていくか、それとも、当たるか当たらないかわからないのに借金をして店出すか。決断として、辞めて、会社に入った方がいいんじゃないかってなって。全く違うことがいいと思って。トラックは乗れたのでそれを活かして、子どものために地域から離れない仕事に就こうと思って入った。

**Q.心がけていることや仕事の姿勢を教えてください。**

誰かのために何かをして報酬が発生する。お客さんが払ってくれて、自分ご飯が食べれるっていうことが根本にある。お客さんに対するミスをするとは

絶対にあって、でもお客さんは絶えず仲良くしていたら悪くは思わない。僕はいつも回収に行くときあいさつしてお客さんと1分ぐらい会話する。その1分が無駄じゃない。とてつもない失敗や事故や回収もれがあった時、「今日回収されてないんですけど」って事務所に電話がかかってくるか、1分使った人がコミュニケーションをとれるかどうか。それで、自分の評価が上がるかもしれない。コミュニケーションをとる時間を作ることで信頼の構築が出来る。「天職」という言葉があるけど、それって自分で決めないよね。いつが終わりかわからんもんで、勤め続けて最後に「天職だったね」って自分自身、その時に初めて気づくと思う。

**Q.35周年ということで、これから、アグメントとしてどうしていきたいですか？**

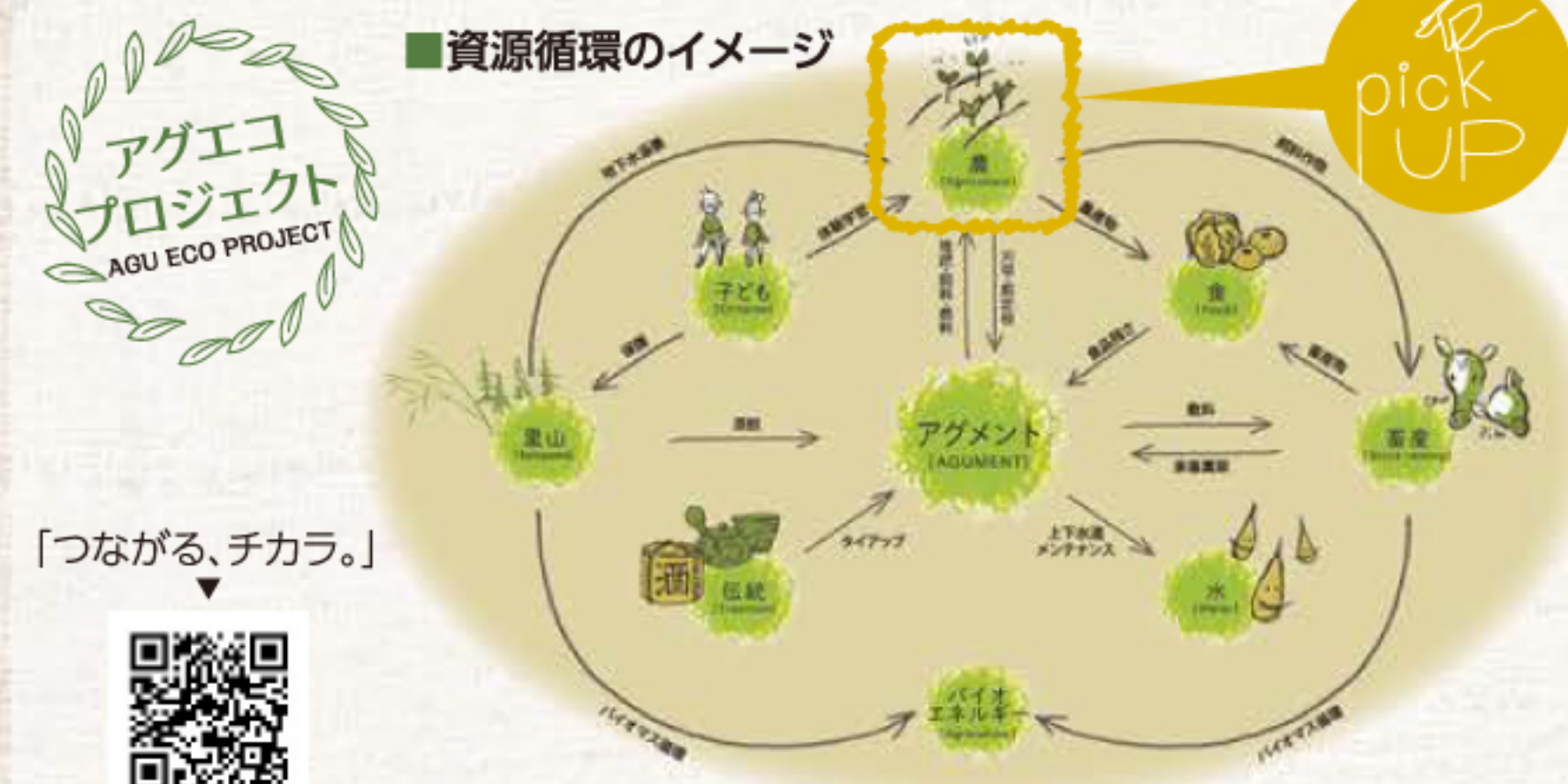
うちの仕事って、形が無い。結構お客さんにわざわざ見とってもらったりとか、商品を提供する仕事ではない。だから、見える化をしていかなきゃいけない。そして、信頼を積み重ねていかなければいけない。コツコツ、正直にやればいよいよいいんじゃないのって思う。あとは、自分が満足できるまでやればいよいよじゃないのしか、無いね。アグメントだったら安心。絶対大丈夫ってならないといけないね。

次のリレーバトン

アルジュさん(新人)

質問内容

「イケメンのアルジュ君、最近、どう？」入社して数か月経って、入る前にイメージしてたことと、入ってみてからのイメージはどうですか？



「つながる、チカラ。」



## 「つながる、チカラ。」～つなげる人たち～



「農」でアグメントとつながる「ル・クーリュズ」さんへのインタビューは裏面に

